広報 あさひまち 4 1990 APRIL 月号 NO.401
ASAHI MACHI

シリーズ〝働く〟

オートバイの好きな畳職人

い草の香り漂う作業場。春の訪ずれとともに忙しさを増し、畳の表替えに汗を流す阿部安彦さん（大谷五、23歳）。

埼玉県畳職業訓練校で三年間学び、父八十八さんの後を継いで三年目。

まち針とへりひきを使い、畳べりが手際よく縫いこまれる。

「寸分の狂いもなく部屋に納まった瞬間がたまらない」と語る目は、もうすっかり職人のもの。

21世紀へ〝土台の年〟に

ふるさと発ふるさと行き

平成2年度の新しい町づくりがいよいよスタート。21世紀をめざした基本構想の見直しや、ふるさと創生事業、合併処理浄化槽事業の着手と大きな課題が目白押し。今月は、新年度の町づくりについて、西沢広報委員が小林町長にインタビューしました。

タムシバ

西沢敬子広報委員
（西原・主婦）

体験学習の場に

■**西沢**　今日は桜の開花宣言が山形でありました。さわやかな季節を迎え朝日自然観に出かけたい気分になりますが、町長さんはなかなか忙しくて家族で行かれる機会も少ないのでは？

■**町長**　先月末に休暇をとって家族や身内でホテル自然観に一泊してきました。孫たちは大喜びで、久々にゆったりした気分になれて良かったですね。

■**西沢**　私たちも生活を楽しむゆとりをもつためにも、ぜひ利用していきたいと思ってます。

ところで、オープンいらい評判も上々のようですが、今年は施設や道路整備とともにソフト面でどう充実させていくお考えでしょうか。

■**町長**　アクセス道路については今年と来年で片をつけたい。施設面も今年はワインの森、ワイン館、丸太遊具、きのこ園、湿性花園などを整備し、夏期間の利用を高める計画です。

ソフト面では、自然と人間のふれあいという当初のねらいもあり、まず小・中学生などの野外学習の機会をつくること。そのためにも鳥や動・植物、気象、星など自然との仲介役となるアドバイザーをぜひ育てたい。

■**西沢**　「自然観」の名の通り、自然にふれ、体験し感動できる機会と人材面の充実ですね。

■**町長**　あと経営面では支配人の考えもありますが、四季折々のイベントですね。ブナの森や野外ステージを生かした催し、全国では六番目にきれいな星空を観察する集いとか、訪れた方々に感動してもらえる機会をつくりたいと考えています。

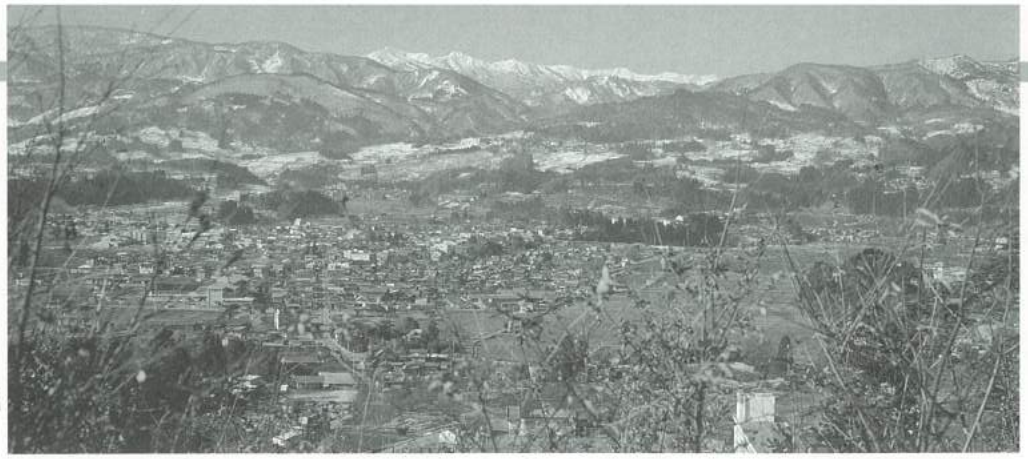
かけがえのない町

■**西沢**　次に、ふるさと創生事業について伺いたいんですが。

■**町長**　一つは高齢化対策を中心とした〝ふれあいの里づくり〟、二つ目は、〝エコミュージアム推進事業〟、三つ目は〝二十一世紀の人材を育てる塾の開設と海外研修事業〟の三点に決まりました。

ふれあいの里づくりは、町の総合福祉充実のための基本方針を協議していただく推進会議の設置と、町に合ったディサービスとリハビリ、保健活動などの機能を備えたセンターの建設をめざすものです。

エコミュージアムは、横文字でわかりにくいかもしれませんが、生活・環境博物館という意



テレビ塔のある館山から望む朝日連峰

小林富蔵朝日町長（大沼）

味で、町の良さを見直し、自然や歴史、文化、産業などを生かしながら町全体を博物館のようなエリアにしようというものです。その中心拠点として、各地の情報を集め提供する機能や音楽、演劇、学習などができるホール、図書館といった多目的施設などを検討したい考えです。

また、町づくりの基本は人づくりですので、今後の町づくりにどういう人材が必要かも含めて推進会議等で検討しながら塾開設をめざす予定です。

■**西沢**　将来の施設づくりなどに備えて、婦人会や長寿クラブで基金を積み立てる準備をすすめています。やはり世代をこえて一人一人が自分たちの課題をとらえてとりくんでいくことが大切だと思いますが、ディサービスセンターの建設の時期は？

■**町長**　平成四年あたりと考えています。福祉を支えるためには財政の問題が大きく、行政だけでなくみんなの知恵と力を合わせていくことが必要ですね。

清流守る元年に

■**西沢**　エコミュージアムを推進しようというきっかけは？

■**町長**　かけがえのない地球、そして町の豊かな自然環境をしっかりと守って、私たちの子孫に引きついでいこうという発想です。合併処理浄化槽の推進もこの認識から出発しています。

■**西沢**　住んでいる私たちが町に誇りを持って、足元から行動を起こそうということはとても大切なことだと思います。

■**町長**　利便性、快適性を追求し続けてきた結果が環境汚染やオゾン層の破壊、温暖化などをひき起こしている。そういう大きな視点でものごとを考え、身近かな足元から行動を起こそうと。

■**西沢**　すばらしい町づくりの発火点にぜひなってほしいと願ってます。ところで、いまお話のあった合併浄化槽について、今年は何基ぐらい設置される計画ですか？

■**町長**　国、県の補助枠などいろいろな制約がありますが、初年度は七十基です。先のアンケート結果も参考にしながら、推進協議会を中心に年次計画によってすすめたい考えです。

■**西沢**　主婦として心配な点は設置した後の維持管理の問題です。各家庭でうまく機能させていくための学習とか、もっと安心してとりくめるようなＰＲがほしいですね。それと、まず学校や公民館など公共施設が率先して合成洗剤を使わないでほしいと思いますね。

■**町長**　維持管理については、費用の件も含めて検討しているところです。公共施設でお手本をというご提案も、早速できるところからやっていきたい。やはり今後は、設置の有無に関係なく各家庭から流す排水についての関心を高めていく必要がありますね。

若者の発想生かして

■**西沢**　次に、昨年開設された町民大学のことですが、生涯学習大会も大変盛況でしたね。ただちょっと残念だなと思ったのは、青年層が少なかったこと。若い世代の参加を促す手だてが必要なのではないでしょうか。

■**町長**　青年議会でも出されましたが、町外へ出て働く人が九百人近くいる。青年層がとくに多いわけで、家には寝に帰ってくるだけという状況。その中で、学習機会をもつことはなかなかむずかしいと思います。

しかし、おもしろ塾やブナの森フォーラムなど自らやりたいことを企画して継続している点に注目したい。人数は少なくても除々に増えていますし、ぜひ育てたいと考えています。

■**西沢**　県の生涯学習センター開設も間近ですし、中央の講座やリーダー研修にも幅広く参加させてほしいですね。

■**町長**　リーダーの養成については、町も力を入れたい。学習意欲をもっている人やグループがどんどん出てくることが生涯学習のねらいでもあります。

■**西沢**　最後に、これからの町づくりについて基本構想づくりをすすめられるそうですが。

■**町長**　いま、五つの検討部会をつくり各分野ごとに話合いをすすめています。二十一世紀をめざした町の課題や必要な対応策を明確にしながら、広く町民みなさんのご意見を反映させていきたい考えです。

■**西沢**　ここ十年間の私たちの姿勢、行動力が問われる時だということですね。これからも、もの言わぬ町民でなくどしどし注文し、町づくりに参加していきたいと思います。

ありがとうございました。

出

性質別予算内訳

入

平成2年度一般会計予算

42億4,300万円

●グラフの金額は四捨五入した額ですので
合計金額との間に誤差があります。

●主な投資的事業

■総務費

（単位千円）

庁舎分室建設	84,000
町有車購入	3,400
日赤救援車購入	2,700
ふるさと創生推進	19,500

■民生費

保育園整備	1,294

■農林水産業費

農業生産体質強化総合推進対策事業	60,646
町単土地改良事業	3,000
県営焼野開拓地整備事業	4,834
小規模排水対策特別事業	8,707
団体営農道整備事業	6,080
団体営農地防災整備事業	12,151
新農業構造改善対策事業	52,821
農村基盤総合整備事業	27,450
農村総合整備モデル事業	133,650
林道暖日山線開設事業	5,760
森林総合整備事業	30,220
森林総合利用促進整備事業	42,800
林道一ツ沢線開設事業	11,200

■商工観光費

朝日山麓観光レクリエーション地区整備事業	73,816
朝日連峰登山基地整備事業	600
大沼浮島施設整備事業	10,520

■土木費

側溝整備	4,540
町単舗装工事	4,500
町道維持補修工事	6,500
区道整備	685
除雪機購入事業	1,000
道路整備事業（公共）	112,000
道路整備事業（単独）	195,000
ふるさとづくり特別対策事業	167,810
県単独道路整備負担金	5,000
がけ地危険住宅移転整備事業	10,372
緑ケ丘公園整備事業	50,120
都市街路整備事業	48,285

■消防費

防火水槽施設整備事業	13,600
小型動力ポンプ積載車	2,700
ポンプ庫整備事業	1,015
林野火災特別対策事業	8,300

■教育費

小学校整備事業	8,000
小学校プール補修	5,500
杉山分校補修	670
立木小学校建設事業	266,545
朝日中学校整備	1,760
公民館建設事業	37,595
体育施設整備事業	3,700

■災害復旧費

農業用施設災害現年補助災害	16,030
土木施設単独災害復旧事業	1,960
急傾斜地崩壊危険防止事業負担金	2,200

■諸支出金

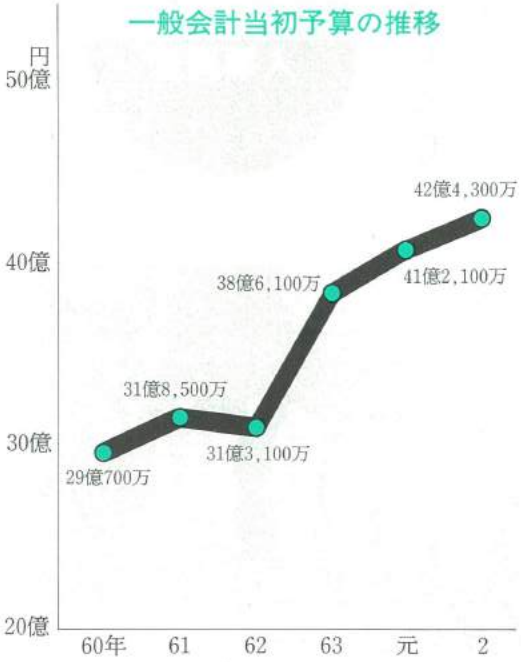
双葉住宅団地用地取得事業	5,353
事業用地	7,676

平成２年度特別会計・企業会計予算

	会計名	予算額
特別会計	集落排水事業	1,190万円
	朝日山麓家族旅行村「朝日自然観」事業	2億3,770万円
	国民健康保険	6億6,086万円
	老人保健	5億5,480万円
企業会計	病院事業	5億1,096万円
	水道事業	1億5,920万円

（注）企業会計は収入金です。

一般会計当初予算の推移



平成２年度一般会計予算を１人当りに直すと

394,000円

《元年度/379,000円》

●収入

町税	地方交付税	国県支出金
●46,268円	●183,998円	●54,487円
11.8%	46.7%	13.8%
町債	**繰入金**	**その他**
●65,344円	●8,996円	●34,907円
16.5%	2.3%	8.9%

●支出

議会費	総務費	民生費
●8,395円	●52,307円	●29,120円
2.1%	13.3%	7.4%
衛生費	**農林水産業費**	**商工費**
●25,981円	●52,213円	●19,849円
6.6%	13.2%	5.0%
土木費	**消防費**	**教育費**
●63,313円	●17,055円	●66,636円
16.0%	4.3%	17.1%
災害復旧費	**公債費**	**その他**
●1,875円	●54,520円	●2,736円
0.5%	13.8%	0.7%

町政スポット

これから本番「ふるさと創生」

「自ら考え、自ら行う地域づくり」を目的とした「ふるさと創生事業」について、全国各地でさまざまな取り組みが始まっています。

わが町でも、先に開かれた3月定例町議会で、次のような事業が行われることに決まりました。

決まりました。

一億円の使いみち

昨年、ふるさと創生事業のとりくみとして、まず町民のみなさんからアイディアを募集したところ、七十件をこえるアイディアが寄せられました。

これらのとりまとめについて、設立以来町づくりの核となってきた地域開発研究会（阿部宗一郎会長）に依託。同会ではそれを受け、まず「ふるさと創生一億円」をテーマにした「町民よあかしフォーラム」を開催。三百二十名あまりの町民が、夜を徹して「わが町のふるさとづくり」を語り合いました。また、各自治公民館を通してアイディア人気投票を実施、その結果を町にご提言いただきました。

町ではその提言をふまえて、部内プロジェクト会議で検討。振興対策審議会の審議を経て具体的な事業計画が次のようにまとまりました。

●ふれあいの里づくり推進事業

県一の長寿の町にふさわしい、こころゆたかな生きがいの里づくりへ、そして二十一世紀を見とおした福祉のためのコンセプト（＝概念）づくりをします。

具体的には、▼総合福祉対策の調査研究のための検討▼ふれあいの里づくり推進会議の設置、をすすめていきます。

町職員の人事異動

12人を新規採用

四月一日付で町職員の人事異動が行われ、十二人の新規採用者を含む町職員の新しい体制がスタートしました。

今年は、第三セクター会社の設立にともない、臨時職員の雇用安定のための業務や町営バス運行業務などを委託。昨年オープンした朝日自然観への若手スタッフの配置や、今年度からスタートする合併処理浄化槽整備の推進体制を強化するなど、今後の事業推進体制の充実をはかった内容となっています。

●退職（3月31日付）

▽鈴木直子（住民課住民係）▽安達堅衛（総務課庶務係）▽今井美代（和合小調理師）長い間ご苦労様でした。

●休職（4月1日付）

▽清野敏秀（町立病院）

●新採（4月1日付）▽岡崎国広（西町）▽伊藤　淳（前田沢）▽佐藤　修（大滝）▽早坂健一（大谷五）▽藤沢美子（杉山）▽今井一成（大町）▽安達和史（本町）▽佐竹敏子（太郎一）▽佐竹幾子（八ッ沼）▽阿部玲子（松程）▽阿部美智子（大暮山）▽石橋正道（山形市）

●異動（4月1日付）

【本庁】総務課▽文書係長兼バス係長　豊嶋茂憲（福祉係長）▽財政係　鈴木康宏（県派遣）▽庶務係　伊藤淳（新採）**企画情報課**▽企画広報係　橋間友則（社会教育係）同係　阿部喜栄治（北部公民館）**建設課**▽維持管理係　佐竹政子（町民税係）▽工務係　鈴木勝（西部公民館）同係　武田光雄（バス係）**商工観光課**▽商工観光係長　菅井和広（自然観業務部長）同係　斉藤文子（文書係）**農林課**▽農政係長　佐藤伸寛（農地調整係長）同係　長岡利光（庶務兼学校教育係）▽林務係　松田勝美（地籍調査係）**税**

新規採用職員への辞令交付風景（4/2）

昨年行われたフィリピン・アブカイ町との「友好の町」宣言式

●エコミュージアム推進事業

町を「自然と文化のまるごと博物館」（エコミュージアム＝生活・環境博物館）に仕立てあげ、ふるさとを見直し、町のイメージアップと若者が住みたくなる町づくりをめざします。

具体的には、▼エコミュージアムの調査研究▼ふるさと資源マップやカルテづくり▼「かけがえのない町」写真コンクール▼わたしの好きなふるさとの風景絵画コンクール、をすすめていきます。

●人材養成塾「二十一世紀委員会」の設置

町の未来をひらく、優秀な人材の育成をおこないます。

具体的には、▼若者を対象とした人材養成塾の開設▼女性だけの分会の設置▼町民の国内外の派遣研修制度の設置▼国際交流、協力事業、をすすめていきます。

以上の三本柱で、ふるさと創生事業をすすめていきます。これからは、住んでいる自分たちが「ふるさと」の素晴らしさを発見、自分の手で、ものもこころもゆたかな「ふるさと」をつくっていくことが必要です。町民のみなさんの「ふるさと」づくりへのご参加をお願いします。

務課▽町民税係 菊地幸子（維持管理係）▽地籍調査係 遠藤憲一（林務係） **住民課**▽住民係長 菅井博（自然観企画営業部長）同係 松田千枝（年金係）▽福祉係長 小川澄夫（商工観光係長）▽年金係 高取照子（庶務係） **保健課**▽衛生係長 阿部和夫（農政係長）同係 阿部弘美（工務係）**【出先機関】保育園**▽さゆり 菊地千代（ふたば）▽ふたば 大井恵子（さゆり）清野典子（わかば）▽わかば 安藤孝子（ふたば） **水道事業所**▽業務係長 武田正（病院庶務係長）▽工務係 今井一成（新採） **朝日自然観**▽企画営業部長 清野直治（施設課長）▽施設部長 佐藤敏行（スキー場課長）▽業務部長 阿部洋一（施設部長）同部 佐藤修（新採）**【社会福祉協議会】**事務局長 鈴木昭男（住民係） **【町立病院】**▽内科医長 石橋正道（新採）▽庶務係長 小野隆弘（医事係長）▽医事係長 柴田忠（衛生係長）▽看護婦 阿部美智子（新採）▽調理師 阿部玲子（新採） **【教育委員会】管理課**▽庶務兼学校教育係 岡崎国広（新採）▽調理師 宮宿小 佐竹幾子（新採）和合小 遠藤辰江（宮宿小）上郷小 佐竹敏子（新採）大沼分校 小林たみゑ（大暮山分校） **生涯学習課**▽社会教育係 鈴木芳文（企画広報係）▽社会体育係 藤沢美子（新採）▽西部公民館 安達和史（新採）▽北部公民館 早坂健一（新採）**【県へ派遣】**総務部地方課理財係 渡辺政一（財政係）

"納豆は地球を救う"

変えよう農業経営の視点

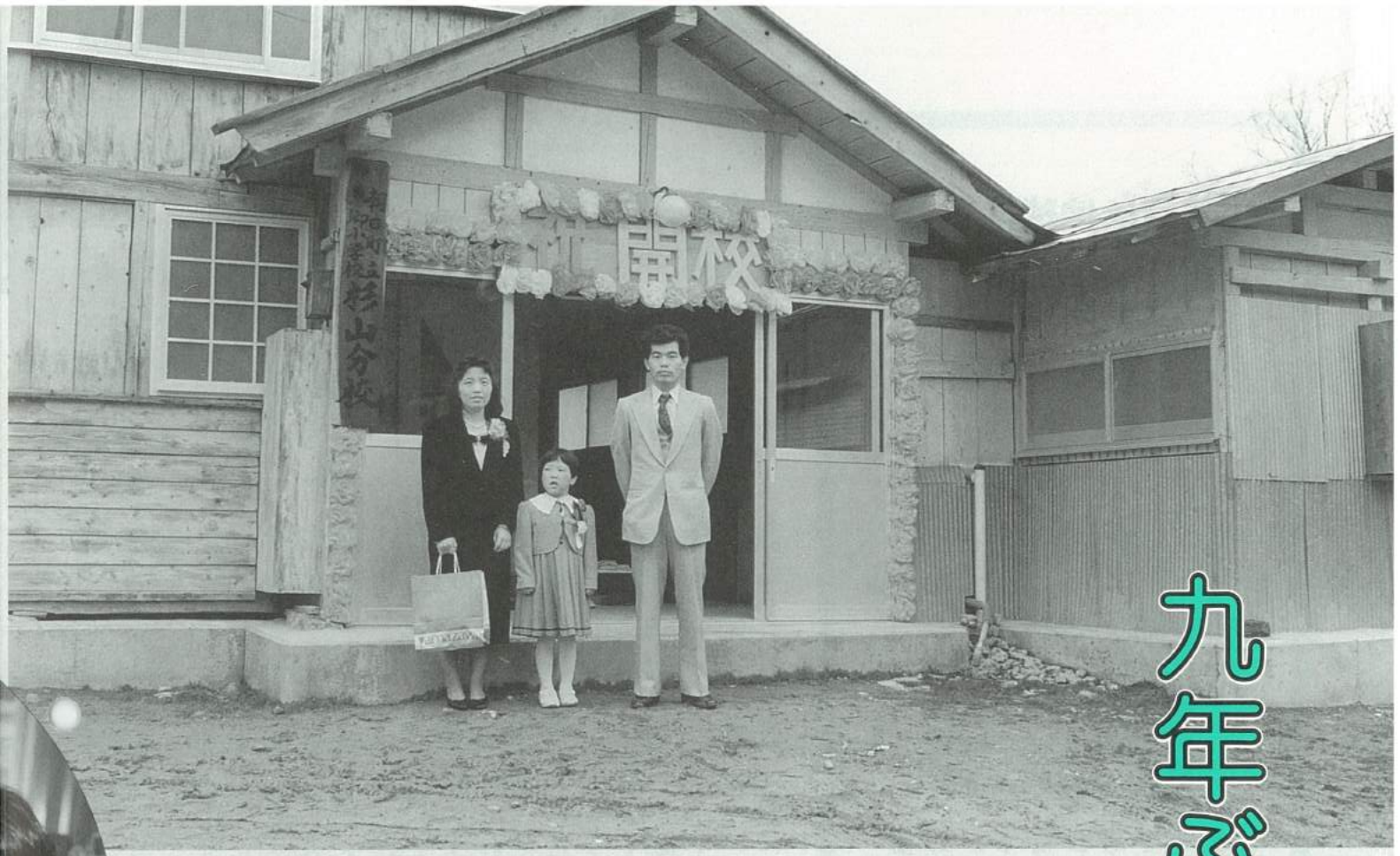
■農業講演会開く

▶農業の可能性を熱っぽく語る藤本講師

三月二十日、農業講演会が農協団地センターで開かれました。わが町のような中山間地の農業が、これからどのように発展していくのか、根本から農業への視点を変えていくことが必要ではと、町と農協が主催したもの。約七十名の参加者は熱心にメモをとって聴き入っていました。

講師は、元全学連委員長で、歌手の加藤登紀子さんとの「獄中結婚」で話題になった藤本敏夫さん（46歳）。

講演では「消費者は安いから買うという志向から、ものの価値を理解して買う、という志向に変わっている。たとえば、納豆はたいへん健康に良い食品だが、なんとなく気持ち悪いと敬遠する者も多い。パッケージをNattoとローマ字をいれ、しゃれたデザインの箱詰めにし販売したところ、一個五十㌘八十五円と割高にかかわらず毎月十四万個も売れている」また、「山間の過疎地こそ、食糧生産の適地であり、自然にあこがれる都会人に健康、安全、憩いを与えてくれる貴重な空間」と、わが町の大きな可能性を指摘。さらに、施設だけでは観光客は呼べない。そこに生活している人たちの雰囲気が大事であり、朝日町の生活のありかた全体が商品になると、これからのわが町の方向を示されました。



9年ぶりに開かれた玄関前に立つ由美子ちゃんとご両親

九年ぶり喜びの開校

春満開の上郷小杉山分校

四月五日、上郷小学校杉山分校が九年ぶりに開校されました。

新入学児童は、杉山の安藤浩さんの長女、由美子ちゃん。由美子ちゃんは午前中、本校でもう一人の新入生、大滝の柴田奈美ちゃんといっしょに入学式をすませ、渡辺淳一先生と共に杉山分校へ。

開校式では、地区民約五十名が集まり、鈴木鴻(ひとし)区長さんより「これまでの悲願ともいえる分校開校が実現し、村に明るさがよみがえった。」との喜びのあいさつがありました。

渡辺先生と由美子ちゃんの一対一のつつましい授業が行われます。来年は三人の友達も入学し、一段と明るい笑い声が村中に響くことでしょう。

「これまでの悲願が実現し、こんなにうれしいことはない」と語る鈴木区長さん

ちょっとおすまし由美子ちゃん

カメラさんぽ

望月校長先生より教科書をいただきます

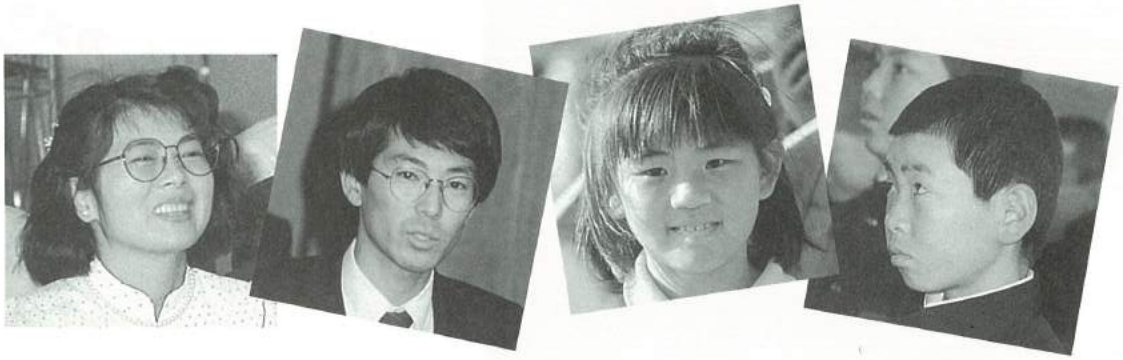
上郷小学校の新入生は由美子ちゃんと奈美ちゃんの二人です

明日からは渡辺先生と二人で仲良く勉強します

さっそく職員室に入る練習です

「ぼくたちも早く学校に入りたいナー」

ひろば



■連絡先
役場企画情報課
企画広報係へ
☎67−2111（内222）

こんなものいらない〝他人のものさし〟

●おもしろ塾

自然観で公開講座

三月十八日、「朝日おもしろ塾」の公開講座が自然観コテージで行われました。

塾では、新しい町づくりの学習会を行っていますが、今回は、学校教官の小松光一さんと町地域開発研究会長の阿部宗一郎さんのお二人。いらないものを探したら、本当にいるものが見つけられる。そんな、司会のことばで始まったこの講座。「都会へのあこがれが生み出す幻想」、「東京に住むのと朝日町に住むのとどっちが本当に豊かなのか、違いがわからない人間」、「遅れた農民、進んだ都会人」、「進歩的な文化人といわれている人」、そして「都会にだけ目を向けたりゾート開発」など、いろんな、いらないものが出されました。まとめとして、自分が住んでいるところが中心だと思うこと、他人のものさしは、それこそ「こんなものいらない」という結論が出されました。

遠く余目町の青年や一般町民ら四十数名が参加しての公開講座となりました。

対談したのは、千葉県農業大

対談のあとは、それぞれ持ち寄った酒と自慢のつまみで、夜の更けるのも忘れて本物のコミュニケーションをはかりました。

学習の場ともなるコテージは、若者の熱気ムンムン

若者の声ー町づくりへ

●青年議会

他サークルの青年も参加

活発な意見がとびかった議会風景

三月二十五日、町連合青年団（清野寿浩団長）主催の「青年議会」が開かれました。これは同団の年間活動の総まとめとして行われているもので、今回で十八回目の長い伝統を持ち、県内外からも注目されている活動のひとつです。

当日は十六人の若き青年議員が、町の現職議員や婦人会員が傍聴する中、自然観の経営戦略や若者定住など五項目にわたる一般質問や提言を行い、小林町長はじめ町行政の考えを質しました。

今年は特に、参加者の巾を広げようと、フォークグループ「あめっかぜ」、劇団「りんご村から」、新しい田舎生活を考え実践する「アップルハウスクラブ」、「自然を守る会」の青年たちも参加。生活環境問題をはじめ朝日中学校男子生徒の頭髪に関することや文化活動の充実など多方面にわたり、内容の濃い議会との評価を受けました。

町では、これら青年たちの声を今後の町づくりに活かしたいと考えています。

なお、この青年議会の内容は、同団発行の機関紙「朝日の若者」にくわしく載せ全戸配布する予定とのこと。ぜひ、ご一読ください。

町民の

このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。

隣のリンゴ家族

堀ひろき (16) FUJIO

ひとことトーク

長岡　与三さん
（石須部・68歳）

"熱い仕事"に熱中

りんご温泉の炭焼き名人

りんご温泉の隣で、昨年十二月から炭焼きを始めました。

山形朝日農協の依頼によるもので、二十年ぶりの大役。今も昔も炭焼きは、熱い仕事です。

材料は一般的には、楢やくぬぎを使いますが、ここではりんごの木を使っています。出来ばえの方は雑木に劣らず上々。

農協では、このりんご炭を使ってさまざまなイベントを予定しているようですが、町民の皆さんも炭を使って魚を焼いてみませんか？ひと味ちがったおいしさを見つけられるかもしれませんよ。また、炭焼きの現場を見たい方は、いつでもおいで下さい。お待ちしております。

150種、750本が集合

世界のりんごの木 接ぎ木はじまる

接ぎ木作業に精を出す奈良崎さん

りんご植栽101年記念事業で準備がすすめられてきた、世界のりんごの木植栽用のほ木が各地から続々と役場へ到着。150種、750本あまりが大滝の奈良崎美雄さんの手によって台木に接ぎ木されています。

この苗木は奈良崎さんの手によって大切に育てられ、りんご温泉周辺に計画中の世界のりんご園（約50㌶）に植栽される予定です。

久しぶりの作業のため、はじめは少々とまどったとか。しかしすぐに勘をとりもどし、奥さんの恵美子さんと２人で次々に接ぎ木されていきます。

数年後には、この苗木が成木になりたわわに実をつけることになりますが、今年度計画しているりんご資料館や農畜産物研究加工施設とともに、りんごの里の新しい顔として注目を集めることになりそうです。

●春です。火災に気をつけて！火災予防週間4月16日～22日

新年度事業などを話し合った部長以上幹部会

本演習は4月30日

今年は全国操法大会に出場

町消防団

春の火災予防運動を前に四月六日、消防団部長以上幹部会が役場で開催。渡辺金二団長は「町民の生命と財産を守るため、町民の期待に応えるよう努力してほしい」とあいさつ、続いて新年度事業などを協議しました。今年は特に十月の全国操法大会への出場が決まっており、町あげての支援が望まれています。

148人が仲間入り

朝日中で入学式

季節はずれの雪を踏みしめ、４月６日に朝日中学校の入学式が行われました。

式ではまず、148人の新入生の呼名のあと、鈴木三郎校長より「相手の存在を認め、友情を大切に毎日の勉学に励んで下さい」と式辞がありました。

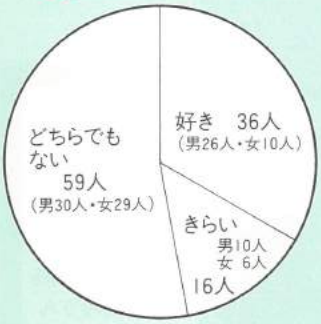
つづいて、在校生から歓迎のことばと「大地讃頌」の大合唱。クライマックスは、各学年代表３人によるかたい握手で朝日中の仲間入りをしました。

と思う…67%

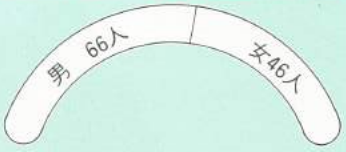
●青年団が若者の意識調査

団員の減少に悩む町の連合青年団(清野寿浩団長)。青年同士の「こころ」が見えないということで、このたび青年の意識調査を行いました。これは、青年団のこれからのあり方をさぐってみる資料にすることと、「青年議会」のための質疑資料とするために実施したもの。次に、その一部を紹介します。

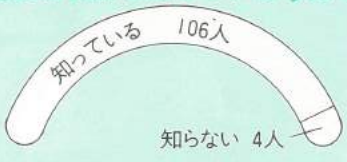
Q 町が好きですか？



■回答者数112名(回答率95%)



Q 町長の名前を知っていますか？



平成４年、県都近づく

山形朝日線期成同盟会総会開く

べにばな国体が開かれる平成４年の開通めざして、工事が急ピッチで進められている主要地方道山形朝日線。これまで、早期実現へ向け20数年の運動を続けてきた整備促進期成同盟会の総会が３月26日、山辺町中地区公民館で開かれました。

鳥海トンネルの開通や架橋整備など、着々と姿を変える本ルート。地元住民のパワー全開の総会となりました。

中地区公民館で行なわれた今年の総会

■求人あんない

朝日自然観

。募集人員／18～30才の男女若干名
。仕事内容／ホテル業務全般
。勤務時間／9時～5時30分
。その他／厚生年金、社会保険、雇用保険加入

ご希望の方は、四月三十日まで履歴書をそえて朝日自然観（☎六七―七一一一）へ

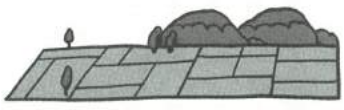
土地取引には届出が必要です

国土利用計画法では、土地買い占めや乱開発などを防ぐため、土地取引を行う場合に届出をしなければならないことになっています。

図のように一定面積以上の土地について、売買などの取引をする場合、事前の届出が必要です。

また、個々の取引面積が小さくても合計すれば一定面積以上になる場合も、それぞれについて届出が必要です。土地取引とあわせて立木や建物の取引を行うときには、その予定価格を届出書に記載することになっています。

都市計画区域	都市計画区域以外の区域
5,000㎡以上	10,000㎡以上



届出をしないで土地取引をした場合は土地取引動向調査で指摘されます。その場合は懲役や罰金などに処せられたり、税法上の特典がうけられなくなることがありますのでご注意ください。

役場企画情報課へ
☎(67)2111（内線222）

抱負を述べる長岡直美さん

はつらつ45人がスタート

左沢高校朝日分校入学式

春の陽ざしがやわらかな4月9日、晴れて入学式を迎えた高校朝日分校の45人の新人生。井上博校長から「自ら選んだ道を着実に歩もう」との式辞があり、新入生を代表して石須部の長岡直美さんが「朝日分校生として誇りをもち、勉学に励みます」と抱負をのべました。

青年団は必要

Q 町のすきなところはどこですか？

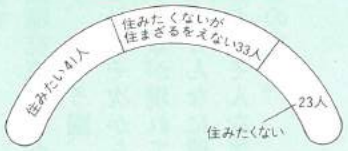
自然が豊か	78人（男43人・女35人）
りんごやワインがおいしい	43人（男24人・女19人）
人情味がある	32人（男23人・女9人）
自然観	10人（男6人・女4人）

Q 町の嫌いなところは？

楽しめる場がない	74人（男43人・女31人）
他人への干渉	52人（男22人・女30人）
イメージが暗い	25人（男15人・女10人）
町の雰囲気	23人（男16人・女7人）
高齢化の町	21人（男15人・女6人）

Q 青年団はあったほうがいいですか？

Q 今後朝日町に住みたいですか？



■子ども会員募集

▽朝日ナチュラリストクラブ
・年間活動計画／自然観察、星空観察、白鳥・カモシカ観察会
・募集対象／三年以上の小学生二十名
・年会費／五百円
・申込み／四月二十三日まで
☎六七―三五八九　西沢信雄へ

■パスポート申請手続きが変わりました。（四月一日）

・一回旅券がなくなり、数次旅券だけになります。（五年間有効、八千円）
・渡航費用の支払能力証明書は不要です。
・代理申請が可能です。

町が博物館に見えてくる

「緑の博物誌」からエコミュージアムへ

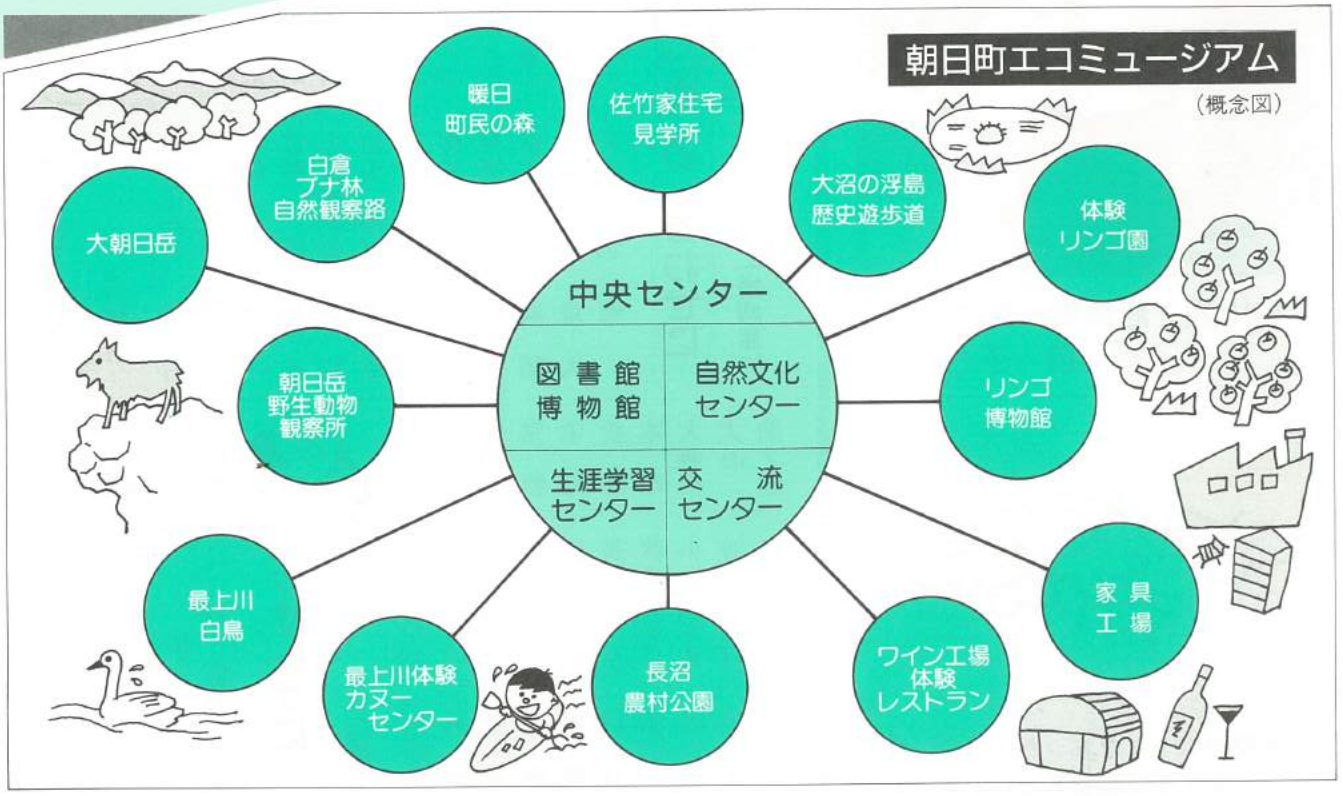
頑張って「物づくり」にはげんだ時代が終わり、「心づくり」の九十年代になりました。
町を愛し、楽しみながら生活することが九十年代のテーマです。もう一度、生活を楽しみ、心を豊かにするという視点から、わが町の自然・歴史・文化・産業を見直しましょう。
きっと、町が博物館に見えてくるでしょう。

かけがえのないわがまち

先日、『緑の博物誌』という小冊子が各戸に配布されました。表紙には朝日町の木であるブナの葉があざやかに飾られていました。ページをめくってみると朝日連峰の雄大な写真。見事なカタクリの花・花、美しい浮島、山ザクラ、リンゴの花、次々に美しい風景が現れました。
いったい何の本だろう、と表紙に戻ってみると、左下に小さく『平成元年版、朝日町勢要覧』という文字がありました。ああそうか、これが町勢要覧か、町を紹介する冊子か、それにしても朝日町はこれ程美しかったのか、と驚いたのです。
さらにページをめくってみると、リンゴ園、ワイン工場、家具工場、佐竹家といつも見なれた生活の場が次々と新しい視点で紹介されています。
朝日自然観、国際交流、イカダ下り、ダム祭り、ぶどう園、最上川の白鳥、それこそ次から次へと町の行事や風景が現れてきます。朝日町ってこんなに豊かで楽しかったのか、そんな気持ちになってくるのです。
お盆とか正月に都会から帰省した身内や知人たちから
「朝日町の自然はすばらしい」
「朝日町に帰ってくるとほっとする」
と、よく聞かれると思います。
夏は、朝日川での魚のつかみどり、上郷ダムの花火、最上川の激流下り、冬は白倉のスキー、雪遊び。どれをとっても、都会に住む人々にはうらやましいことばかりです。
都会にない良さがいっぱいあるのです。帰って来た人々を、ほっとさせるような生活や環境は、朝日町のもつすぐれた魅力なのでしょう。帰省した人だけでなく、住んでいる私達も積極的にそれを味わっていきたいと思います。

エコミュージアムとは？

最近、エコミュージアム（生活、環境博物館）という言葉が一部で使われ始めました。朝日町は、町全体を博物館と考えてもよい程すばらしい。そのすばらしい町を、よく理解し、学び、自分のものとして楽しみ、誇りを持って生活していこうという構想です。



都会には都会の良さがあり、田舎には田舎の良さがある、それをはっきりと見きわめ、都会にひきづられることなく、田舎固有の生活を楽しんでいこう。私達の生活や環境は、それ自体を博物館だといってもいいくらいすばらしいものなんだ！それを表現し、施設や行事として町内に配置していこうと思います。住んでいる人が楽しめるような町は、きっと他の町の人にも魅力的に見え、訪れる人も多いことでしょう。

表題のものを最初に考えた、アンリー・リビエル（フランス人）は、エコミュージアムの三大任務について次のように書いています。

一、エコミュージアムは、地域住民の学校である。

二、自然と文化の保護センターである。

三、地域発展の道を求める研究所である。

さらにその定義として、

エコミュージアムは行政と住民が一体となって発想し、行政は施設・技術者等を用意し、地域住民はアイデア・知能等を提供、両者の共同作業で管理・運営する博物館である。としています。

そして各所に点在する、自然風景・工場・史跡・農場はそのままで、非常に貴重で価値のある展示センターであり、体験できる博物館だととらえ、それを中央の施設がむすびつけ、案内の窓口になっているのです。

つまり、地域の生活そのものが十分学び合い、体験し合うだけの価値があるということです。

実現への道すじ

ではどんなことができるのだろうか。まず、町を知ることから始まります。「りんごとワインの里」とは言いながら、リンゴ園は知らないし、ワイン工場にも入ったことはない人も多いと思います。

誰でも希望すれば見学できるリンゴ園と、そこを案内してくれる有能な解説員が必要でしょう。もちろんワイン工場も見学でき、さらに説明してもらえれば、朝日町ワインに対する愛着も増すでしょう。

家具工場や酒造所などその他色々な産業についても、見学と体験ができればすばらしいでしょう。

自然についてはどうだろうか。「町の木ブナ」も気軽に案内してもらえたら、もっと親しみがわくでしょう。白倉や暖日山でもブナ林が見られます。そんな場所でのキャンプは楽しいものです。

文化といえば大沼の浮島と佐竹家。この貴重な文化財はエコミュージアムの大切な目玉で、町の歴史や文化を学ぶ手がかりになります。ぜひ体験学習できるように整備しましょう。

朝日町の自然・文化・産業、どれも知らないことが多いのです。まずは町の概要を知ることが始まりです。

すなわち、地域をよく知ろうという意欲から始まり、楽しみながら学習する学校、研究所、文化センター、博物館、図書資料館、情報センターになるのです。

『緑の博物誌』が、いつの日かエコミュージアムに変貌し、緑のエコミュージアムセンター（生活、環境博物館）の実現する日が来るかもしれません。しかし一番大切なのは、朝日町に住む人々が、「かけがえのないわが町」を認識するとともに、人間の可能性を最大限引き出せるシステム（組織体）を作ることではないでしょうか。

（朝日町エコミュージアム研究会）

こせきのまど　■3月1日～31日届出

すこやかに（出生届）

出生児氏名	父名	区名
保利　隆嗣	隆宏	大谷六
岡崎　真成	清	下芦沢
佐藤　優	和典	栄町
志藤穂菜美	正利	大谷六
白田　幸恵	孝雄	大谷三
阿部　薫	富士男	八ツ沼
渡邊可奈子	一雄	能中
長岡　利平	利光	松原
鈴木　美幸	義昭	大暮山
今井　みく	規人	新宿
長岡　駿也	勉	太郎一

おしあわせに（婚姻届）

中沢　五十嵐英史	♡	今井　珠美
寒河江市　太郎一	♡	東根市　齋藤　正明
大町　鈴木　俊一	♡	新宿　佐藤　良子

やすらかに（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
大船木	佐藤たまの	秀雄
大谷六	小野　ミナ	榮多
佐竹　とめ	達雄	
栄町	崎村　卓也	岩雄
松原	長岡いすゑ	利八
本町	渡邊ハルヱ	徳
大暮山	小松ますゑ	善治
大谷二	渡邊　良藏	茂子
助ノ巻	鈴木　昇	善次郎

まごころBOX

●(財)朝日町育英会へ
夏草の佐竹瑞穂さんから五万円、本町の佐直信雄さんから十万円をご寄付いただきました。

●社会福祉協議会へ
西町の阿部信行さんより家族でためた一円と五円で五、〇四八円、千葉県船橋市在住の内橋正明さんより恵まれない方々のためにと三十万円をご寄付いただきました。

大谷五	長岡　きく	石五郎
太郎二	長岡長太郎	太　藏
水本	岡崎　志ん	義一
沼向	菅井　喜市	幹雄

●川通／志藤俊一郎さん　順　子さん

さやか新婚さん

2年間のホットなおつき合いで、めでたくゴールイン、幸せあふれるお二人です。お互い忙しい時には、ラジオへのリクエストメッセージを送りながら絆を深めたとか。「年のわりにはおちついてしっかりした女性」と少し照れながら話してくれた。新婚旅行は、俊一郎君が農業研修で行った思い出の地、沖縄へひとっ飛び。しっかり者同志のカップル誕生。お幸せに！　（遠藤喜由広報委員）

人口と世帯数

●平成2年3月31日現在

人口		10,759（△51）
	男	5,327（△36）
	女	5,432（△15）
世帯数		2,594（　2）

（　）内対前月

春の交通安全運動実施中

交通事故に気をつけて

■おわびと訂正

本紙三月号の18ページ「町民卓球まつり」の成績の中で、団体戦の二位が夏草となっていましたが西町の誤りでした。おわびして訂正いたします。

春夏秋冬　編集後記

出勤途中で、毎朝きまって髪の長い女子高校生を追い込してくる。冬期間はバス通学だったのだろうか、自転車に乗って、ロングヘアを春風になびかせる姿は、何ともさわやかな印象を与えてくれる。四月は進学、就職と新たな出発の季節。「広報あさひ」もイメージを一新し、さわやかな話題をお届けしたいと思っています。（K）

先日、NHK番組「豊穣の林・ブナ林」をみた。人工衛星から写した日本列島の映像が東北地方に焦点をしぼりつつ、黒田あゆみアナの語りが入る。「地球上で最も美しい森、ブナ林」と。この番組の4割ほどが朝日鉱泉付近で撮られたものらしい。その素晴らしい自然に感謝しつつ、新装の「広報あさひまち」第一号をお届けします。（T）